愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2023年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	産業・組織心理学		
担当者(Instructors)	松田 凌	配当年次(Dividend year)	1
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

近年では長時間労働やパワーハラスメント，労働者の自殺など，産業・組織分野において様々な課題が挙げられている。本授業では産業・組織心理学における理論や知見を学び，現代社会のこれらの課題に関して，組織運営や労働者個人の人権尊重，心理的理解や援助といった様々な視点から考察することを目的とする。 なお，講義は対面での実施を基本とするが，課題やレポートはオンライン上で提示する。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	講義
授業の方法(Class method)	適宜授業内で考察問題を提示し，受動的な学修だけでなく学生自身の能動的な学修の機会を作る。 また，提示された質問への解答を通して，福祉における社会的な課題や対象者への支援に関する課題と検討の視点の共有を行う。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	オリエンテーション	本授業に関するオリエンテーションと，産業・組織心理学の目的や歴史，方法等について学ぶ。	□
第2回	産業・組織分野の制度・法律・職種	産業・組織分野に関する社会の制度や法律，産業・組織心理に関わる職種について学ぶ。	□
第3回	産業・組織分野での活動の倫理	産業・組織分野での活動の倫理と個人情報や守秘義務について学ぶ。	□
第4回	作業の改善と安全衛生	作業能率やヒューマンエラーに関する研究や，職場の安全マネジメントやリスクアセスメント等について学ぶ。	□
第5回	リーダーシップ	組織における集団目標の達成などに関するリーダーシップ理論を学ぶ。	□
第6回	消費者行動	消費者行動の傾向を理解し，効果的なマーケティングや消費者保護について学ぶ。	□
第7回	人事、ヒューマン・リソース・マネジメント	組織における人材募集や人事評価，多様な人材の活用について学ぶ。	□
第8回	キャリア形成	職業選択における理論やキャリア形成，ワーク・ライフ・バランスのあり方について学ぶ。	□
第9回	職場集団のダイナミックスとコミュニケーション	職場における集団力学と組織におけるコミュニケーションの特徴について学ぶ。	□
第10回	労働者の心理と行動	労働者のパーソナリティと職業適性，モチベーション等について学ぶ。	□
第11回	職業性ストレスとメンタルヘルス	職務における作業負担や心身の疲労，ストレスと心の健康等について学ぶ。	□
第12回	産業・組織分野における心理学的アセスメント	職業適性やストレスチェック，労働環境など，産業・組織分野で必要なアセスメントについて学ぶ。	□
第13回	産業・組織分野における心理学的援助	産業カウンセリングやストレス予防，ストレスマネジメント等の心理学的援助の方法について学ぶ。	□
第14回	産業・組織分野での課題と労働者の生活の両立	近年の社会状況や労働環境における課題を踏まえ，労働者自身の生活との両立の重要性について学ぶ。	□
第15回	まとめと期末テスト	期末テストを行い，本授業を振り返る。	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

毎授業前までにテーマの中にある言葉について調べてくる。（2時間） 授業後は配布資料を参考に授業内容を振り返り，用語や内容について

調べる。（2時間）

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

ミニテストは次回授業時に回答と解説を示す。提出された質問は、まとめて次回授業時に匿名にて全体に提示し、共有する機会を持つ。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
思考力・判断力・表現力	◆ 2019人間健康DP2	労働をめぐる問題やその解決法について説明でき，自身で考えることができる

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験（in-class exam)	その他(Other)
			100%	

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

毎授業後のミニテスト・ミニレポート（５０％），期末テスト（５０％）。

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	なし	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	授業内で適宜紹介します。	
2		
3		
4		
5		